【応募の状況及び審査の結果】

－ 木谷沢渓流への利用者誘導のための「環境整備方針案」の公募結果 －

令和４年１０月２１日
鳥取県江府町

江府町においては、御机地内の「木谷沢渓流」において「利用と保全の両立」を目指した「自然観察マナーの定着」を図るため、周辺の自然景観と調和し自然環境に対する負荷の低減を目的とした周辺施設の環境整備の基礎となる「木谷沢渓流入口及びエバーランド奥大山周辺の環境整備方針」を定めることとしました。

この整備方針案の策定に当たり、より一層の来訪者の満足度と安全性の向上を図るため、整備方針案について広く意見、意匠を募集し、以下のとおり審査を行って優秀賞を決定しました。

１．応募及び審査の結果

【募集期間】　令和４年８月２日（火）から９月２日（金）
【応募点数】　１２件（提案者は１１名）
【審査概要】　令和４年９月２８日（水）に実施（審査員４名、１０項目×５点）
【審査結果】　**優秀賞３点を選出**

２．「優秀賞」の概要

（１）子供たちの「ここで思いっきり楽しみたい！」が詰まった整備方針

【受賞者概要】　**江府町子ども教室の児童５６名（１年生から５年生）**
【受賞の理由】　子供たちの視点から、このエリアで「やってみたいこと」「楽しんでみたいこと」に重点を置いた様々な提案が示され、審査員の「やる気」に火が付いた

＜提案の概要＞

①木谷沢渓流入口駐車場（県道西側）周辺

渓流入口の目印になる木製の看板が欲しい。入口の周囲にはブナの木などを植樹して、森の中でくつろげる飲食スペースにしてはどうか。屋台やキッチンカーによる販売が出来るように、電化された炊事場を作る。木や植物の説明を増やして、鳥の声が聞けたり詳しい木や植物の情報が手に入るＱＲコードも表示しておく。森の中で音楽会を開く。

②エバーランド奥大山周辺（県道東側）周辺

大型バスは施設北側の駐車場へ誘導し、乗用車は南側駐車場優先にする。エバーランドのエントランスには、大山の花や木を色とりどりに植え、火山（大山）に由来する石の安山岩などの展示もしてワクワクする入口にする。

案内所には観光協会の人がいてくれて、グッズの販売やＶＲの貸し出しをしてくれる。スタンプラリーもやっていて、木谷沢から帰ってきてまたハンコをもらうと、江府町の商品券がもらえるなどのシステム。ドッグランと乗馬コーナー、やぎやうさぎのふれあいコーナーがある。

（２）周囲の「自然環境、景観との調和」を最優先とした整備方針

【受賞者氏名】　**池淵直紀氏（鳥取県米子市在住）**
【受賞の理由】　周囲に広がる自然景観との調和と環境負荷の低減を念頭に置き、様々な側面からの具体的な提案が示され、審査員に抜群の「安定感、安心感」を抱かせた

＜提案の概要＞

①木谷沢渓流入口駐車場（県道西側）周辺

周囲の環境と調和した「自然に溶け込む公園」として整備。天然素材（木製）を用いた可動式の遊具、テーブル、ベンチ等を設置し、環境負荷の低減と自然環境との調和を図る。安全管理のため県道と接する部分には格納可能な車止めを、渓流側には転落防止用のフェンスを設置する。

②エバーランド奥大山周辺（県道東側）周辺

県道脇には駐車場の進入案内を表示し、施設前に車輌が誤進入することを防ぐための車止めを設置。駐車場からエバーランド奥大山を経由して木谷沢入口に至る遊歩道を整備し、歩行者の安全な移動を確保する。駐車場は石材や木材、砂利を使用して周辺の自然環境との調和を考慮した舗装を整備するほか、木製の案内看板や擬木柵を設置して、周囲の景観との調和を図る。

（３）「環境再生」の実践を体感できる展示場とする整備方針

【受賞者氏名】　**桐村里紗氏（鳥取県米子市在住）**

【受賞の理由】　環境を守るのではなくあるべき姿に「再生する」という、環境に対する前向きな姿勢を目に見える形で示す「攻めの整備方針」が審査員に衝撃を与えた

＜提案の概要＞

①木谷沢渓流入口駐車場（県道西側）周辺

地域に蔓延した「ナラ枯れ」を地球の病気として捉え、土中環境を含めた森の再生と森全体の水の循環を学び森を再生するというプロセスを、ひとつのコンテンツとして展開。環境再生の専門家を招聘、診断を依頼して、観察から再生に至る参加型のワークショップの場として整備する。

②エバーランド奥大山周辺（県道東側）周辺

「再生型観光（リジェネラティブ・ツーリズム）」の集客拠点としてのコンセプトを案内表示やサインで示し、施設内にも関連する展示内容を充実させる。敷地内の歩道は「リジェネレーションアプローチ（再生遊歩道）」として回遊自体が目的となるような自然と一体化した整備を行って、エバーランド奥大山の外周を渓流入口へまで誘導する。

３．総評

提案いただいた内容の中には、「グランピング」、「イベント広場」、「キッチンカー」、「遊歩道」といった、国立公園内においては即時の対応が難しいものから、比較的容易に実現が可能な具体的な提案まで想定以上の幅広い数多くの提案が集まり、ご応募いただいた皆様には心からの感謝を申し上げたい。

これらは全て「木谷沢渓流」に対する愛着と期待の表れであると感じており、今回頂戴したご提案やご意見を参考にして、「木谷沢渓流に」関心をお持ちの方々や関係各機関のお考えをよく聞いて、慎重に整備を進めてまいりたい。

加えて、休止中のスキー場ゲレンデの周回や木谷沢渓流から鍵掛峠までの古道を活用したトレッキングなど、隣接する地域も含めてエリア全体での滞在時間を増やす提案も多数寄せられており、過度の環境負荷を生じないように注意しながら、提案者の期待に応えてまいりたい。

４．今後の予定

＜結果の公表＞

・審査結果について、江府町ホームページと江府町報１１月号で公表します。

・選外となった応募者には「記念品」を進呈します。

＜提案の活用＞

・この度のご提案の様々な要素を分類、整理したうえで、今後予定している「木谷沢渓流入口及びエバーランド奥大山周辺の環境整備方針」の策定作業にできる限り盛り込んでゆく予定。